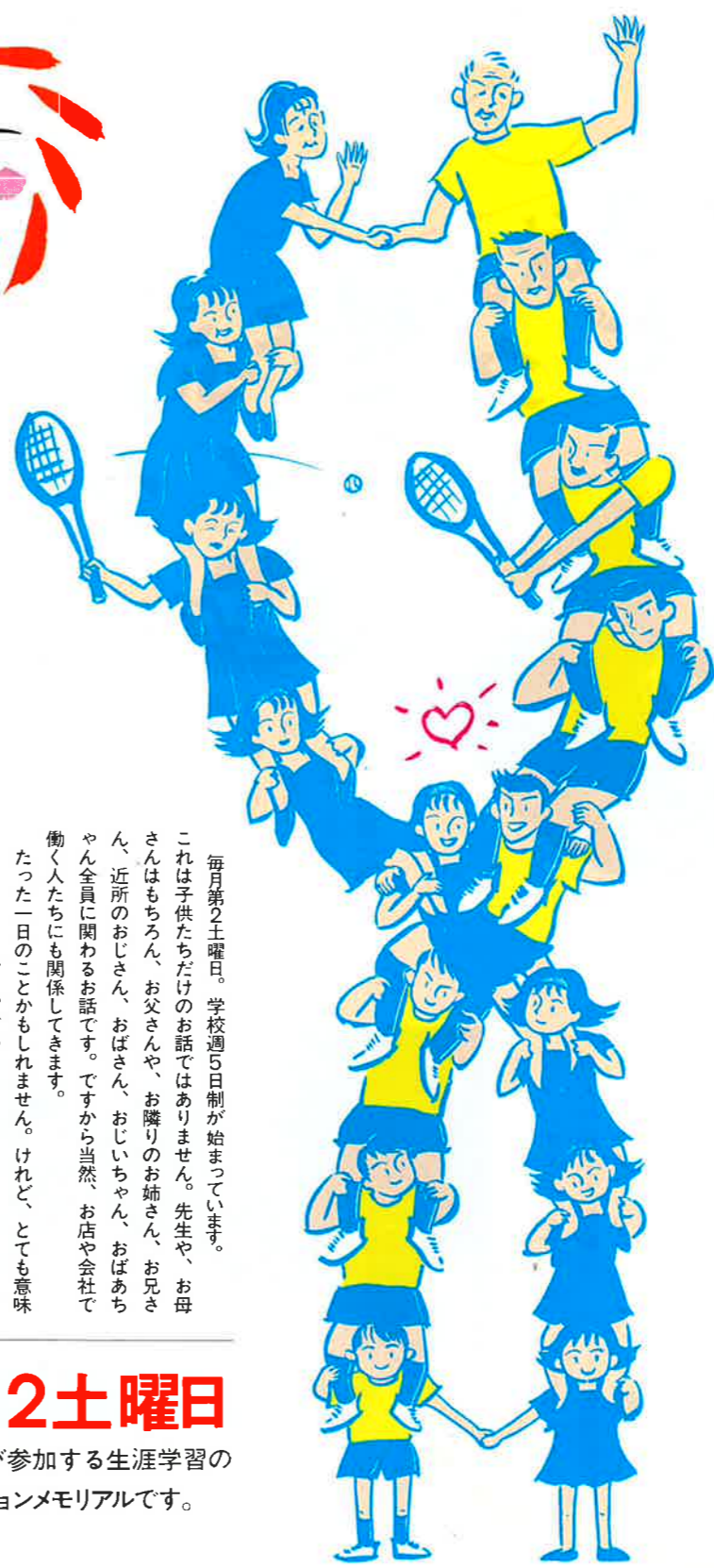




おんな

夏休み 特集



続いている未来に私たちがいなきゃ
忘れないでいよう。

毎月第2土曜日。学校週5日制が始まっています。
これは子供たちだけのお話ではありません。先生や、お母
さんはもちろん、お父さんや、お隣りのお姉さん、お兄さ
ん、近所のおじさん、おばさん、おじいちゃん、おばあち
ゃん全員に関わるお話です。ですから当然、お店や会社で
働く人たちにも関係してきます。
たった一日のことかもしれません。けれど、とても意味
のある一日なのです。だってそこにはたくさん可能性が
含まれているのですから。子供たちの未来、大人たちの未
来、よりよい社会に私たちが暮らせるよう、長い目で見て
いくことは、とても意義のあることなのです。その第一日
目を成功させ、つなげていくために、それぞれの立場から
みんなでこの土曜日に参加していこうではありませんか。

毎月第2土曜日
私たち一人一人が参加する生涯学習の
コミュニケーションメモリアルです。

毎月第2土曜日を、さまざまな形で子供と大人が、ゆとりと真の幸福について考えるための活動が行われる日にしたいと思います。
恩納村教育委員会では、この趣旨に賛同し参加して下さる団体をお待ちしています。

出場チームの顔ぶれ



真栄田チーム
監督 石嶺正秋
コーチ 安富祖豊穂
キャプテン 金城永利



瀬良垣チーム
監督 親泊誠
コーチ 當山松弘
キャプテン 梅原哲紀



キセンバルチーム
監督 外間勳
コーチ 伊佐川盛作
キャプテン 宇江城悟

第21回 少年野球大会 安富祖クラブ 2年ぶりの栄冠



優勝 安富祖クラブ
監督 佐渡山安武 コーチ 仲村敏安 キャプテン 新垣秀一

八月一日、二日の両日、赤間運動場において、青少年健全育成協議会（比嘉茂政会長）主催の第二十一回少年野球大会が行われました。大会には、十一チームが参加、父母たちの応援のもと、チビッコ球児による熱



準優勝 山田ファイターズ 監督 屋良朝雄 キャプテン 村吉政己

戦が繰り広げられました。決勝戦では、安富祖クラブが昨年優勝チームの山田ファイターズを10対0で完封し、二年ぶりの栄冠を手にしました。



塩屋ライオンズ
 監督 吉山 由美子
 コーチ 吉山 盛次郎
 キャプテン 宮平 英治



宇加地タイガース
 監督 長浜 一夫
 キャプテン 長浜 真嗣



前兼久タイガース
 監督 山城 英治
 コーチ 町田 宗孝
 キャプテン 喜納 良文



南恩納ドラゴンズ
 監督 仲西 智直
 コーチ 小浜 武康
 キャプテン 小浜 厚志



恩納チーム
 監督 池原 豊三
 コーチ 大城 保篤
 キャプテン 大城 優希



仲泊子供会
 監督 浜元 清一
 コーチ 喜納 忠正
 キャプテン 島袋 裕介

新記録
に
種
目
六

中学校陸上競技大会



恩納村青少年健全育成協議会（比嘉茂政会長）主催の第十四回恩納村中学校陸上競技大会が七月二十三日、赤間運動場において開催されました。村内五校から男子二十種目、女子十七種目で練習の成果を競い合いました。競技の結果、六種目に新記録が誕生し、山田中学校が総合優勝を果たしました。

【男子】

- 一位 仲泊中学校
- 二位 山田中学校
- 三位 恩納中学校
- 四位 喜瀬武原中学校
- 五位 安富祖中学校

【女子】

- 一位 山田中学校
- 二位 仲泊中学校
- 三位 恩納中学校
- 四位 安富祖中学校
- 五位 喜瀬武原中学校

【総合】

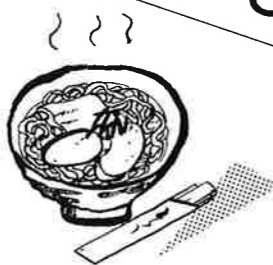
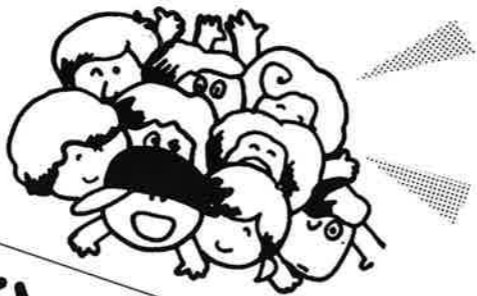
- 一位 山田中学校
- 二位 仲泊中学校
- 三位 恩納中学校
- 四位 安富祖中学校
- 五位 喜瀬武原中学校

【新記録】

男子共通千五百メートル四分



友情の輪をひろげて
日和佐町から子ども会来村



昼食は「沖縄そば」で……

阿波踊りで有名な四国徳島県の日和佐町子ども会交流研修生二十人が、八月二十四日、恩納村を訪れ、両町村の子ども会同士で友好を深めました。日和佐町とは、姉妹都市の関係にあり、毎年夏に両町村の子ども会が交互に訪問し合い、今回で十一回目を数えます。各家庭で、郷土料理を食べ、民泊した翌二十五日、コミュニティセンターにおいて、互いの郷土芸能を紹介、レクリエーション、ゲームなどで楽しいひとときを過ごしました。



さとうきびやまるいてんぶらなどめずらしいものを食べたと話す堤響子ちゃん



ゲームやダンスで楽しいひととき

第2回恩納村少年の主張大会

私の家族は四大家族です。兄弟は、弟と私の二人です。父は子供の様に明るい性格で、ひょうきんな事をして家族を爆笑させます。母は凡帳面で家族の事をよく考えてくれます。

父母の愛に応えたい

安富祖中学校三年 田仲千春



しかし、父と母は、私が産まれる前にとってもつらい思いを乗り越えてきたようです。母は、せっかく恵まれた子宝を二度も失ってしまったのです。昭和五十三年一月十五日、父母にとって待望の健康な子が無事に産まれたのです。それが私だったのです。父母をはじめ祖父母、親戚が大変喜んだそうです。

を聞く度に、小さい頃からとても大事に育てられて、こんなに大きくなったんだなど、嬉しくなり、なんとなく充実した感謝の気持ちでいっぱいになります。私が幼稚園の時に弟が産

まれました。弟が産まれた日の朝、おじいちゃんに連絡すると「康」という字の入る名前を二十種類も考えて、病院へとんで来たようです。おじいちゃんの名前は「康喜」で、孫の中に「康」のつく名前の子が一人もいないので弟にはぜひ「康

をつけてほしいという、おじいちゃんのとつての願いであったようです。父母はおじいちゃんの良い通りに弟の名前をつけました。私は弟をだっこして、誰にもだっこさせなかった事を今も覚えています。弟はともやんちゃで健康で、時に

はケンカをして私を泣かせたりするくらいでした。そんな弟が三歳の時でいきなり入院という事になりました。私は小学校三年生でした。母は弟の看病で毎日家にはいません。父と私の二人だけの生活になりました。父は朝早くから洗濯をしたり、食事を作ったりと、家事一切をやっていました。大変だったと思います。そういう状況におかれていながら、小学校三年生の私は、父母の苦勞もし

と思いました。両親は、私と弟に、「お前達が勉強したいという気があるなら、どんなに金がかかっても、借金をしてでもさせてあげるよ。お父さん達は、お金でしか助けてあげられない。勉強は自分でやるものだ。しっかりと頑張りなさい。」と、よく言います。父母のそういう願いの裏には、勉強したくてもできなかったくやしきがあるようです。

父は、リゾートホテルの仕事をしています。毎日がとても忙しいようです。しかし、どんな時でも家族の声を聞き連絡をとります。そんな父に対して母は、「お父さんに感謝しなければね。」と言います。父と母は、私達を一生懸命育てているんだと感じる時、私は心の底から親に感謝し、親と自分のために、社会に役立つ人間になれるよう頑張っていかなければと強く心に誓います。



'92 夏休み親子ふれあいピクニック



お母さんと手作り弁当をひろげて

恩納小学校二年一組(平良ゆかり担任、二十五名)二組(仲本要担任、二十五名)の夏休み親子ふれあいピクニックが、八月二日午前十時から具志川野外レクリエーションセンターにて親子総勢百五十人余が参加して開催されました。



ドッジボールゲームのひとつコマ

当日は、好天気に恵まれ、自然遊歩道ハイキングコースに始まり、ドッジボール大会、全体記念撮影、親子レクリエーション大会、すいか割り合戦と楽しいプログラムがいっぱい。ドッジボール大会では、「クラスや親子で対戦し、「負けないぞ!」「ソレー!」「いけいけ!」と応援やかけ声も勇ましく、日頃の親子の仲の良さが見えてくるようでした。

また、親子レクリエーション大会は、子どもたちが企画運営に当たり、親も必死に汗を流したり、お腹をかかえて爆笑する珍プレーも続出しました。最後は、全員に参加賞のキーホルダー等がプレゼントされました。自然に親しむ中で親子の会話を深め、一組、二組相互の親子の交流会の場として、夏休みのよりよい楽しい思い出の一日でした。